

Canps News No.1 2008.1.22

NPO 法人 がん患者団体支援機構(Cancer Patient Support Organization)

発行責任者：俵 萌子 編集委員長：中野貞彦、編集委員：浜中、三浦、古山、若尾、安田

第4回がん患者大集会の準備すすむ

<2007年11月2日(金)理事会で

方向を打ち出す>

理事会は午前10時から午後5時半まで。第4回がん患者大集会の進め方について時間をかけて論議し、大要次の方向を確認した。

がんセンターのテレビ会議システムを利用、全国10カ所を中継して開催。実行委員長として中野副理事長、副実行委員長として内田副理事長、若尾理事(事務局)を推薦決定。

主催は支援機構と実行委員会で行い、テーマは“がん医療の地域格差を無くす”“がん対策各地の取り組み”などとする。

その後、担当者で話し合いを持ち、企画案を作成。がんセンターのテレビ会議システム利用について、前もって俵理事長が安達審議官に申し入れ、了解を得ていたので、正式に厚生労働省がん対策室に問い合わせ、12月13日(木)に訪問した。

<がん対策推進室を訪問>

俵、三浦、古山、中野で木村室長補佐を訪問。第3回大集会のお礼を述べ、第4回企画案について説明。木村氏からは事前に調べた留意事項を説明して頂いた。武田室長にもご挨拶をした。

<がんセンター総長に面会して要請>

12月27日(木)午後2時~3時、廣橋総長、垣添名誉総長、加藤情報センター長を、俵、内田、若尾、安田、中野が訪問して面会。中野が企画案を説明、垣添名誉総長から患者会がまとまってほしい旨の発言があった。廣橋総長からは、将来その方向をめざし、テレビ会議システムが国民の財

産であるという趣旨にそうように使ってください、というご返事をいただいた。

具体的な事項は課長と連絡をとって後日打ち合わせることとなった。

<日程は2008年11月30日(日)に決定!>

理事会での議論を基に事務局で作成した当初企画案(2007.12.5付け)では11月9日と30日のいずれかとしていたが、その後事務局で検討。2008年10月26日(日)に名古屋で日本癌学会シンポジウムに支援機構として参加するため、間を置くことにして、11月30日とした。

<がんセンター・システム管理課と打ち合わせ中継力所を9カ所に!>

2008年1月18日に、システム管理課佐藤課長とシステム管理を行なっているIBMの常駐担当者久米氏と、三浦・古山・中野で初めての打ち合わせを行なった。きわめて好意的にに応じて下さった。沖縄については、通信回線接続上の問題があるため、除外する方がよいとの意見をいただき、9カ所中継ですすめることとした。

<理事会で、企画案と実行委員会準備会開催を確認>

2008年1月20日(日)の理事会で、今までの取り組みを報告し、論議。中継力所を9カ所とした企画案を確認。2月17日に第4回がん患者大集会実行委員会の準備会開催を決めた。また、各ブロックの実行委員を組織する担当として、実行委員会に組織部会をおき、三浦事務局次長・安田理事(事務局)・黒田理事があたることとした。

<今後の予定と課題>

2月17日(日)午前 実行委員会準備会開催
 全国9ブロックの実行委員の依頼・推薦
 9カ所のテレビ会議システム所有の病院へ利用
 と協力の申し入れ

.....

「都道府県がん対策推進計画」進捗に新聞が注目!! 「日経」と「朝日」が大きく報道

「日経」は11月に全国都道府県に調査表を送り集計した結果を分析、12/23,30,1/6と日曜毎に大きく掲載。「拠点整備の目標17道県厳しい」「対策にも地域差 政策編」「患者の声どう生かす 患者参加編」「12都県なお未実施 地域がん登録」と報道している。

2008/1/13付けでは、2面を使って「国民病」に負けぬ社会へ 患者参加の論議不可欠 都道府県がん対策 最終回 座談会編」を掲載。土屋了介・国立がんセンター中央病院長、濃沼信夫東北大学院教授、エッセイスト岸本葉子氏、武田康久厚生省がん対策推進室長が対談している。

「朝日」は1/6付け1面で「がん検診50%目標困難 69市区に本社調査「達成可能」ゼロ」と報道。

<グループ・ネクサスが都道府県計画の策定状況を詳しく調査>

各都道府県のHPを調査し、また電話での取材をもとに一覧表を作製しています。大いに参考にして、活用しましょう。1月11日付けでHPに掲載されています。

<http://www.group-nexus.org/pref01.html>

【書籍案内】

がん患者団体支援機構編「がん患者大集会 [全国] 患者・家族のメッセージ」

三省堂、2008.1.30、¥1,500+税

第3回がん患者大集会の「インターネット大集会」から生まれた本です。

編集担当の中野さんあてにFAXで注文すれば、宅配便で届き、代金引換で、1冊につき1,575円で購入できます。

(送料は三省堂負担です)

<注文の方法>

購入希望の方は、ご住所・お電話・お名前・書名と注文冊数を記入の上、「三省堂 出版企画センター 中野様」宛でFAXしてください。

宛先: FAX: 03-3230-9547

念のため住所も記します。

〒101-8371 千代田区三崎町2-22-14 三省堂

TEL:03-3230-9442

山本孝史著「日本のがん医療への提言 救える「いのち」のために」

朝日新聞社、2008.1.30、¥1,400+税

がん対策基本法成立に大きな力を発揮して下さった山本孝史参議院議員の最後の提言です。氏は昨年12月22日に亡くなられ、この1月12日に告別式が行なわれました。支援機構からも副理事長、理事が参加しました。ご冥福をお祈りします。

////////////////////////////////////

【会員の皆様へお願い】

今後、この【Canps News】を原則として月に一回発行したいと考えています。

支援機構会員の活動を掲載したいので、是非皆様からも記事をお寄せください。

<編集委員長 中野貞彦>

Email: s.nakano@t-net.ne.jp

<事務局>

Email: info@canps.net shienkikou2006@yahoo.co.jp

FAX: 0848-24-2423

*****: